山武市総合計画審議会 会議録

会議名称	第2回山武市総合計画審議会	
開催日時	平成30年3月19日(月) 開会：午後1時30分 閉会：午後4時00分	
開催場所	山武市役所第5会議室	
議長氏名	金子 光委員	
出席者氏名	別添「出欠者名簿」のとおり (13名)	
欠席者氏名	神余 崇子委員、佐瀬 儀光委員、小関 俊夫委員、蕨 健吉委員、亀井 美知子委員、大高 衛委員、藤次 里佳委員 (7名)	
事務局氏名	別添「出欠者名簿」のとおり	
会議事項	次 第	会議結果
	1. 開 会 2. 市長あいさつ 3. 会長あいさつ 4. 諮 問 5. 議 事 (1) 総合計画策定に係る概要及び山武市の現状について (2) 基本構想の構成及び基本計画骨子案について (3) その他 6. その他 7. 閉 会	5 (1) 原案により決定 (2) 原案により決定
会議経過	別添「会議経過」のとおり	
会議資料	(事前配布) ・会議次第 ・【資料 1】第2次山武市総合計画 序論(案) ・【資料 2-1】基本構想(構成案) ・【資料 2-2】第2次総合計画基本計画(骨子案) ・【資料 2-3】施策・基本事業に係る成果指標(案) ・(参考)第2次山武市総合計画策定に係る進捗状況[平成30年3月現在] (当日配布) ・【当日配布資料1】第2次山武市総合計画について(諮問) ・【当日配布資料2】第2回山武市総合計画審議会 座席表	
その他必要事項	署名委員の指名 小川 真実委員 鈴木 謙治委員	
会議録の確定		
確定年月日		署名委員
平成30年6月6日		鈴木 謙 治
		小 川 真 実

(会議経過)

発 言 者	発言内容 ・ 意見
越川企画政策課長	<p style="text-align: center;">【1. 開 会】 【1時30分】</p> <p>ただいまより平成 29 年度第 2 回山武市総合計画審議会を開催させていただきますと思います。本日の司会進行を務めさせていただきます総務部企画政策課の越川です。よろしくお願いいたします。</p> <p>本日は、年度末の本当にお忙しい中をお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>会議の進行に先立ちまして、本日の出欠の状況をご報告申し上げます。本日の審議会でございますが、名簿の 6 番の佐瀬委員様、10 番の今関委員様、14 番亀井委員様、17 番の大高委員様には前もって、所要のため欠席というご連絡をいただいております。本日、急遽、3 名の方から欠席というご報告がございまして、7 名の方が本日欠席でございます。山武市総合計画審議会運営要綱第 3 条第 2 項に基づきまして、委員総数 20 名に対しまして 13 名の出席をいただいておりますので、過半数を超えているということで、会議は成立するというところをご報告申し上げます。</p> <p>それでは、次第 2 になります。椎名市長のご挨拶をお願い申し上げます。市長、よろしくお願いいたします。</p>
椎名市長	<p style="text-align: center;">【2. 市長あいさつ】</p> <p>皆さん、こんにちは。司会からのお話ございましたけれども、年度末の大変お忙しい中を総合計画審議会委員の皆様方にはお運びをいただきましてありがとうございます。</p> <p>ご承知のように、私の市長としての任期も残すところ 1 か月ということになりました。今回ご審議をいただく総合計画というのは次の市長の任期に対してのものでございます。そういった意味で、私の方から諮問させていただくというのが何となくこそばゆいところでございますが、合併から 12 年間、第 1 次総合計画に従いまして、山武市の方向性というものを決めていただき、その中で市政運営に取り組んでまいりました。</p> <p>この総合計画につきましては、ご承知のように、法的には必要不可欠のものではなく、総合計画を作成してもよし、作成しなくてもよしというようになりましたけれども、山武市といたしましても、やはり市の重要な施策を体系的にあらかじめ決めておくということが間違いのない市政のあり方であろうということで、これからも総合計画を作成していこうということで、皆様方には何かと、前回からこのような形でご審議を賜るようになってきたわけでございます。今回は、その骨子となりますところの計画策定につきましてご審議をいただくわけでございますが、計画策定の背景となります序論をご説明申し上げ、まちづくりの大きな方針となる基本構想の審議、それから、市が取り組むべきことを体系的にまとめた基本計画の審議、大きく分けて 3 つのご審議をいただくと</p>

いうこととさせていただきます。

これから4年間の市のあり方ということで、大変重要なものがございますので、どうぞ皆様方お知恵を傾けていただき、忌憚のないご意見をいただきながら、間違いのないものに仕上げていかなければいけないというふうに思っております。

市といたしましては、これまで第1次の計画に従いまして、市民の幸せを追求するという立場からさまざまなことをやってまいりましたけれども、その中で私といたしましては、開かれた市政、それから外に向かって開かれた市にしていくというようなことで、今回もオリンピックを契機に事前キャンプを開こうということで、国の方から第1次のホストタウンとしてのご指定もいただいたわけでございますが、今朝、スリランカの教育大臣も当市をご訪問されて、日本の教育制度について、1週間当市に滞在していただくということで、市としても少しずつそういった意味で国際色も出てきたのかなというふうに思っております。そういった中で、これからの時代の変化、グローバル化といえますか、世界に羽ばたく子供たちに育ててほしいと思っておりますし、さまざまな形で友好関係を結べていければいいなと思っております。

第2次の総合計画もそういった難しい時期ではございますけれども、山武市の未来に向かった姿を描けますように、皆様方にご審議のほどよろしくお願い申し上げたいと思っております。皆様方のお力添えをよろしくお願い申し上げます、ご挨拶といたします。よろしくどうぞお願い申し上げます。

越川企画政策課長

椎名市長、どうもありがとうございました。

続きまして、次第の3になります。会長挨拶です。金子会長、よろしくお願いいたします。

【3. 会長あいさつ】

金子会長

皆さん、こんにちは。年度末のお忙しい中、お集まり頂きまして、有難うございます。

本日は、まちづくりの方向性を示す基本構想と市が取り組んでいく方向を体系的にまとめた基本計画の説明とそれに基づいた審議を予定しています。大きなテーマとしては、人口減少が進む中でどのようなまちづくりをしていくかということとさせていただきます。

先日、私は人口減少率が日本一の秋田県に行ってきましたが、人工知能(AI)の導入が進んでいることを知り、人口減少につきまちは様々な捉え方がありますが、「ピンチはチャンスである」ということを実感致しております。山武市においても人口減少をチャンスとして捉えて、何ができるかについてこの審議会の中でも議論していきたいと思っております。

この審議会は山武市のいろいろな業界のトップランナーの方々が集まっていますので、活発な議論のなかでイノベーションが起こり、新しい価

越川企画政策課長	<p>値の創出につながるものと思っております。この審議会が今後のまちづくりにおいて重要な役割を果たすことに鑑み、本日の皆さんの議論が実りあるものになることを期待しまして、私の挨拶とさせていただきます。本日もよろしくお願い申し上げます。</p> <p>金子会長、ありがとうございました。</p> <p>それでは、次第4の諮問に移りたいと思います。これから策定に取りかかるわけですが、第2次山武市総合計画の審議に係る諮問書を椎名市長から金子会長にお渡しし、皆様方に対しまして、正式に調査・審議をお願いしたいと考えております。</p> <p>皆様におかれましては、今日配付いたしました資料としてお配りしております第2次総合計画について（諮問）の写しをお手元にご準備をお願いしたいと思います。</p> <p>これから椎名市長より金子会長に対しまして諮問書の交付を行いたいと思いますので、大変恐縮ではございますが、金子会長、よろしくお願いいたします。</p>
椎名市長	<p>【4. 諮 問】</p> <p>山武市総合計画審議会会長、金子光様。山武市長、椎名千収。</p> <p>第2次山武市総合計画について（諮問）</p> <p>山武市総合計画条例第4条の規定に基づき、次の事項について諮問します。</p> <p>1 諮問内容</p> <p>第2次山武市総合計画基本構想（案）</p> <p>第2次山武市総合計画基本計画（案）</p> <p>2 諮問理由</p> <p>第2次山武市総合計画の策定に当たっては、計画期間を市長任期（4年間）と連動させ、市長の施政方針を取り入れた計画策定を予定しており、この考え方に伴い延長した山武市総合計画も平成30年度をもって終了します。</p> <p>現計画期間中においては、東日本大震災の発生、全国的に進む人口減少と地方創生の高まり、成田国際空港や首都圏中央連絡自動車道等の国家的なインフラ整備の進行等、市を取り巻く環境が大きく変化しています。</p> <p>このため、市長の施政方針を取り入れながら、今後の社会経済環境の変化と本市が抱える様々な課題に的確に対応し、将来に渡り活力ある持続可能なまちづくりを進めるため、新たに策定する「第2次山武市総合計画」について諮問いたします。</p> <p>よろしくお願い申し上げます。</p> <p style="text-align: center;">（市長から金子会長へ諮問書交付）</p> <p>【5. 議 事】</p>
越川企画政策課長	<p>ありがとうございます。よろしくお願い致します。金子会長、椎名市長、あり</p>

金子会長	<p>がとうございました。</p> <p>それでは、山武市総合計画審議会運営要綱第3条第1項に基づきまして、この後の議事につきましては、金子会長に一任したいと思いますので、会長、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>それでは、椎名市長より諮問書をいただき、早速ですが議事を進めてまいりたいと思ひます。</p> <p>会議に先立ちまして、山武市総合計画審議会運営要綱第4条には、会議録を作成し、この経緯、結果について、出席委員のうち議長が指名する2名が署名しなければならないと定められております。これらにつきましては、前回、委員名簿に従いましてお願ひしたい旨、お話ししておりますので、大変恐縮ですが、今回は小川真実委員、鈴木謙治委員のお二人にお願ひいたしたいと思ひます。</p> <p>なお、本会議終了後、会議の結果を会議録としてまとめ、市ホームページ等で公開する予定となっております。各委員には後日、事務局から会議経緯について確認依頼があると思ひますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、次第に従い、5、議事に入らせていただきます。(1)総合計画策定に係る概要及び山武市の現状についてとなりますが、事務局から説明いただきたいと思ひます。</p> <p>それでは、事務局から説明をお願ひいたします。</p>
秋葉企画政策課 主幹	<p>企画政策課の秋葉と申します。よろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、私の方から、(1)総合計画策定に係る概要及び山武市の現状についてということで、資料1、縦版のA4サイズになっておりますけれども、こちらの第2次山武市総合計画序論(案)を使いましてご説明させていただきます。失礼ですけれども、着座にてご説明いたします。</p> <p>まず、表紙を見ていただきますと、序論につきましては、章立てで構成しており、第1章が総合計画策定の概要ということで、計画の趣旨、計画の構成と期間等を記載しております。第2章では山武市の現状ということで山武市の概況、人口・世帯の推移等、市の現状分析を記載しているところでございます。</p> <p>1ページをご覧ください。第1章、総合計画策定の概要として、1、計画の趣旨ですが、計画の趣旨につきましては第1回山武市総合計画審議会において、第2次総合計画策定方針でご説明させていただきましたけれども、総合計画の策定に関しましては、平成23年地方自治法の一部改正により法的策定義務がなくなりまして、市の判断に委ねられることになりました。市として、総合計画は総合的かつ計画的な行政運営を図るための指針であるとともに、市民にまちづくりの長期的な展望を示すものであるため、今後においても市の最上位計画として位置づけていく考えから、山武市総合計画条例を根拠として、従来どおり議会の議決を経て策定することとしているところでございます。</p>

次に、策定の基本姿勢として3つ掲げております。①として、社会情勢の変化を見据え、その変化に対応できるような計画期間を短縮し、柔軟で実現性の高い計画といたします。②といたしまして、施策や基本事業の目的や目標を具体的に定め、その取組内容と達成状況を容易に理解することができる行政評価を活用した分かりやすい計画といたします。③といたしまして、計画期間中、重点的に取り組むべき分野、目標を定め、限られた財源を効果的に配分する選択と集中を図る戦略的な計画といたします。

次に、2ページをご覧ください。2、計画の構成と期間ですが、(1)の基本構想は、市勢を表す指標を用いながら、まちづくりの方向性を示し、期間については4年間といたしますが、長期的な視野に立った計画といたします。

(2)の基本計画は、中期的なまちづくりの方針に基づく施策の方向性、政策を実現するための施策別計画を定めるもので、計画期間を4年間とし、社会情勢の変化や市長の施政方針との一体性を踏まえたものといたします。

(3)の実施計画ですけれども、こちらにつきましては、基本計画で定める重点的に取り組むべき分野等の推進を年度別、事業別に分類した事業計画で、計画期間は3年を基本といたしますけれども、事業進捗や財政状況等による見直しや迅速な対応が必要となることを踏まえ、1年ごとに見直す1年ローリング方式といたします。

続いて、3ページをご覧ください。3の総合計画の実現に向けてということで、(1)行政経営(PDCA)サイクルに基づく計画策定・進行管理ですが、この後、議事の(2)で施策体系、成果指標をご説明いたしますけれども、本市では総合計画を実現する手段として行政評価の仕組み、考え方を取り入れたまちづくりを推進しております。施策体系に基づき、「施策」「基本事業」と各部署が実施している事業に成果指標を設定し、成果指標に対する達成度を踏まえ、それぞれ評価しております。図で表しているとおおり、計画から実行、評価、改善といった一連の流れによって計画策定、進行管理を行う計画とするもので、これは現行の総合計画でも取り入れているものでございます。

次に、4ページをご覧ください。(2)成果指標に基づく進行管理の方法ですが、施策や事業の成果達成度を市民に分かりやすく見える化することにあります。(1)で説明したように、施策、基本事業、また事務事業に成果指標を設定し、その実績値の把握、評価を行うことで成果達成に向けた課題の抽出、見直し等、事業に対する対策を講じていくものでございます。

なお、この評価結果につきましては、毎年度、市のホームページで公表しているところでございます。

次に、5ページをご覧ください。4、総合計画と各種計画との連動ということで、(1)経営計画としての総合計画として、総合計画は、全施策の目指す姿を網羅した最上位計画であるとともに、市の経営計画として政策実現、行政改革、健全財政の3側面を兼ね備えた計画とすることから、従前の行政改革大綱の理念は総合計画に引き継ぎ、行政改革の取組内容は施策、基本事業に位置づ

けるものといたします。

また、平成 27 年度に策定した地方創生戦略は、市の喫緊の課題であります人口減少問題に対応していくための戦略を掲げている計画となっておりますので、その取組に関しましては、総合計画と重なる部分が多いため、この 2 つの計画を一体的に推進していくことといたします。

6 ページをご覧ください。(2) 市の最上位計画である総合計画と各部門別計画との連動ですが、表をご覧くださいいただければ分かりますように、市では総合計画のほかに、法令その他の必要から数多く個別に計画を策定しているところがございます。これらの個別分野計画は、最上位計画である総合計画の方向性を踏まえながら策定、進行管理を行うものといたします。

7 ページをご覧ください。5、時代潮流ということで、人口減少と少子高齢化の進行、安全・安心に対する意識の高まり、高度情報化の進展、環境問題の深刻化、経済再生に向けた国の方針、地方行政の役割の変化といった現代の状況、流れを記載しているところがございます。

第 1 章につきましては以上となりまして、8 ページからは第 2 章となります。第 2 章は、山武市の現状としてまとめているところがございます。

まず、8 ページでございますけれども、地勢と山武市の概況を記載しております。

9 ページをご覧ください。2、人口・世帯の推移でございますが、本市の人口は、平成 12 年まで増加傾向にありましたが、それ以降につきましては減少傾向になっておりまして、平成 27 年度時点の人口と 20 年前の平成 7 年、10 年前の平成 17 年の人口比を記載し、減少割合を示しております。

また、世帯数につきましては、核家族化や単身世帯の影響により増加しておりますけれども、1 世帯当たりの人員は減っている状況です。

また、地区別の人口につきましては、4 地区とも、ともに減少している状況となっているところがございます。

10 ページをご覧ください。3、年齢構成ですが、本市の年齢別人口比では、男女ともに団塊の世代を含む 60 歳から 69 歳の人口が多く、少子高齢化の構造となっております。また、年齢 3 区分の人口構成では、年少人口（14 歳以下）が 10%、生産年齢人口（15 歳から 64 歳以下）が 59%、高齢人口（65 歳以上）が 30%を超えている状況となっております。

11 ページをご覧ください。4、人口動態ですが、本市の人口動態は、自然増減、社会増減ともに減少となっており、死亡超過、転出超過の状態です。また、自然増減に影響を与える合計特殊出生率は全国・県平均に届かない状況となっているところがございます。

次に、12 ページをご覧ください。5 の転出入動向ですが、転出入における近隣市町との状況を図に示しております。黒矢印が転入をあらわし、青矢印は転出を表しておりますけれども、本市においては、ほぼ全自治体で転入より転出が多い転出超過となっており、近隣市町に人口が流出している状況でございます。

す。

13 ページをご覧ください。6 の通勤・通学の状況ですが、通勤・通学の概況と自治体別状況を表と図で示しております。市民における 15 歳以上の就業者、通学者数は 2 万 8,350 人で、市の人口の約 5 割となっておりまして、流入超過の自治体は、横芝光町、大網白里市、匝瑳市、旭市、九十九里町となっておりまして、それ以外の自治体に関しては流出超過となっております。流入、流出ともに関係が深い自治体は、隣接しております東金市でございます。

次に、14 ページをご覧ください。7 の産業の状況です。(1) 産業別就業者数の推移ですが、平成 12 年まで増加傾向にあった就業者数は、それ以降減少している状況です。産業別では、第 3 次産業（商業・サービス業等）が 60.2% を占めておりまして、本市においても最も大きい産業となっているところでございます。次いで、第 2 次産業（製造業等）が多く 24.4%、次いで、第 1 次産業の農林水産業が 12.1% の順になっておりまして、いずれも 10 年前の平成 17 年と比べ減少しているところでございます。

(2) の農業所得の推移ですが、農業所得は、気候等の外部要因の影響を受けやすく、年度ごとに上昇、下降を繰り返している状況で、平成 18 年からの 10 年間の平均は 10 億 2,400 万となっているところでございます。また、本市の経営耕地及び漁獲量は記載のとおりでございます。

15 ページをご覧ください。(3) 工業として、製造品出荷額の推移ですが、製造品出荷額は、リーマンショック以降、平成 21 年から 1,000 億円前後で推移しております。平成 26 年の状況として 100 事業所のうち 69 事業所が 30 人以下となっており、製造品出荷額の内訳上位は、家具・装飾品、金属製品、食料品の順で、この上位 3 業種で 6 割を超えている状況です。

(4) 商業として、年間商品販売額推移ですが、年間商品販売額は、平成 9 年から平成 11 年にかけて大きく減少しましたが、その後は 570 から 650 億円の間で推移しているところでございます。平成 26 年の状況として 344 事業所のうち法人は 244 となっており、年間商品販売額の内訳上位は、卸売業、飲食料品小売業、機械器具小売業の順となっているところでございます。

最後に、(5) 観光として、観光入込数ですが、平成 22 年までは 220 万人で推移しておりましたけれども、東日本大震災における津波の影響等から激減いたしました。平成 25 年からは 200 万人台を回復しているところでございます。

平成 27 年の観光客が訪れる地点の上位につきましては、道の駅オライはすぬま、いちご園、蓮沼ウォーターガーデンの順となっているところでございます。

続きまして、16 ページをご覧ください。8、経済構造の特徴ですが、本市の経済構造の特徴ということで図に示しております。円の大きさが付加価値額そのものを示しておりまして、産業分類ごとに、県と市との産業構成分類における付加価値額の割合と比較して、山武市は図のとおり、製造業に強みがあると言えます。特化係数、付加価値額ともに高くなっており、次いで卸・小売業、医療・福祉分野、建設業が上位 4 分野の産業となっているところでございます。

17 ページをご覧ください。9、財政の状況で、(1) 歳入歳出ですが、まず、歳入では、主要な財源であります市税収入が、平成 20 年度をピークに減少傾向にあることに加え、地方交付税につきましても、合併特例による交付が平成 37 年度に終了することを考慮しますと、今後における歳入総額の増加も含め、厳しい財政状況が見込まれています。

一方、歳出では、平成 18 年度と比較して人件費は減少しておりますが、国の制度改正等による扶助費の増加や、合併に伴い新たに発行した市債の償還等の公債費も増加しておりますので、歳入歳出の均衡に当たっては、経常経費の抑制と投資のバランスを保つことが求められているところでございます。

次に、(2) 財政指標についてですが、財政構造の弾力性を判断する経常収支比率は 90%前後で推移し、償還の返済に充てる金額割合を示す公債費負担率は 15%前後で推移している状況です。いずれの指標も、比率が高いほど財政構造の硬直化が進んでいることを表すもので、千葉県平均より高い状況となっているところでございます。

次に、財政力指数ですが、先ほど歳入の状況でご説明させていただいたとおり、税収の減少に伴い、市の財政力を示す指数であります財政力指数も、平成 20 年度をピークに低下傾向にあるところでございます。

また、市債現在高は、合併特例債等の発行により増加傾向にあるため、健全財政を確保していくためにも、市債現在高の抑制を図る必要があるところでございます。

19 ページをご覧ください。10 の市民意識ですが、(1) から (3) の内容につきましては、市が毎年実施しておりますまちづくりアンケートによる分析結果を記載しているところでございます。

まず、(1) の本市の住み良さということでは、平成 19 年と平成 29 年比較で、「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」と考えている割合は若干増加しているところでございます。

次に、(2) の本市への定住意向については、山武市に住み続けたいと思う市民割合は 75%で、平成 19 年と比較してほぼ変化はございませんけれども、世代別にばらつきが多く、特に 60 歳以上では 80%となっているところでございます。また、転出意向につきましては、就業先の関係が大きいと考えられる 20 歳から 50 歳代で 20~30%となっている状況です。

最後になりますが、(3) の施策別の満足度・重要度では、重要度が高く満足度が低い施策は、公共交通網の整備・充実、それと道路網の整備・充実、高齢者福祉の充実となっております。また、分布図の下になりますけれども、満足度での平成 24 年と平成 29 年の比較で、上位 5 施策の中に防災・消防対策の推進が入り、その下の重要度につきましては、都市の整備、子育ての支援が上位 5 施策の中に入っております。

以上が山武市の現状ということで、第 2 章にまとめたものでございます。第 1 章、第 2 章を駆け足でのご説明とさせていただきます。聞き取りづらい部

金子会長	<p>分もあったかと思いますがけれども、ご了承いただきたいと思います。説明については以上でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>ありがとうございます。事務局から資料に基づいて、(1)総合計画策定に係る概要及び山武市の現状について説明がありました。こちら、前半の第1章が、前回説明がありました第2次山武市総合計画策定方針の内容について、より詳細にまとめられたものとなります。後半の第2章が山武市の人口の流れ、産業の状況、財政の状況、市民のまちづくりに関する意識などの説明でございました。とりわけ、後半はポピュラーな統計資料で構成されておりますが、ボリュームが多く感じられ、ありのままの山武市を表現しているのではないかと思います。</p> <p>これらの調査結果をもとに、これから説明があります基本構想や基本計画が組み立てられていると思いますが、ここで何か確認されたいことがありましたら挙手の上、ご発言をお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、小川委員、お願いします。</p>
小川委員	<p>発言させてもらいます。千葉大学の教員で小川と申します。前回、ちょっと都合がつかなくて欠席させていただいたのですが、このたび、初めて第2次山武市総合計画の案を見させていただきました。</p> <p>ちょっと質問したいことが幾つかあるのです、まず1点目から。1ページ目の総合計画策定の概要の計画の趣旨、そして基本姿勢について1点確認になると思うのですが、ちょっと質問させてください。</p> <p>計画の趣旨の1行目のところに、総合計画とは、ちょっと省略して、施策をバランス良く効率的に進めていくための基本的な指針となるとあります。それに対して、策定の基本姿勢の③経営資源の選択と集中を図るとあるのですが、これはどういったことをイメージして作られたのか、ちょっと1点確認させてください。これ、バランス良くと、選択と集中というのは、場面によっては対立する概念なので、ちょっと施策の進め方をどう考えているのかなというふうに思いまして、確認がてら質問させてもらいました。</p>
金子会長	<p>それでは、事務局、回答をお願いします。</p>
越川企画政策課長	<p>小川先生、どうもありがとうございます。計画の趣旨の中の、バランス良く効率的に進めていくという中と、その下の基本姿勢の中での経営資源の選択と集中を図る戦略的な計画、いわゆる財源の問題、財政状況、その辺をどうバランスよく進めていくのかというご質問でよろしいでしょうか。</p>
小川委員	<p>その計画の立て方と実際の進め方の話がちょっと一部矛盾しているのではないかなと思って。選択と集中と言ったらば、極端な話、重点的な分野には手厚</p>

くお金はつけるけれども、採算性のないところについては削るという意味なんですよ。削るか、場合によっては切るという、ゼロになる場合だってあるんですよ。となると、バランスよくというふうに言えないのではと思って。

いや、意地悪な質問ではなくて、山武市の財政事情を考えたときに、そこまで不退転の決意で取り組むのかということがあるのかなと思って、確認させてもらった次第なんですけれども。

越川企画政策課長

山武市の強み、弱みというのは一応把握してございますので、その中で実際に今までやってきた事業に対しても、要はどれだけの予算をつければ、成果的に上がるものも当然ございますけれども、実際にその中で強みをより強く持っていく、山武市ならではの魅力を高めるといような、そういうイメージを持って進めていくと。それに対して、財源的なものはやっぱり、どうしても今までやってきたものであっても、要は今の経済の状況等を、流れ等も勘案した中で、現状の今の、今後取り組むべきものを明確にしなが、切るものは切っていくと、ある程度その辺、見直しもきっちり進めていかなければならないのかなと思ってます。

秋葉企画政策課
主幹

今、先生のおっしゃった話の中でバランスよくといったところに関しては、この後、計画の骨子案ということで、総合計画の体系、6政策ございます。その部分の説明もあります。この6政策の、幾つか事業がありますけれども、あともう一つの基本姿勢の中で選択と集中といったところの中では、もちろん財源の状況もあります。各政策、施策を取り込んでいく中には、基本計画といったところ、冒頭、市長からお話がありましたけれども、基本計画の部分については施政方針と、そういった部分を、重点的な分野、取り組むべき分野を、政策ごとに多分掲げていくような形で策定されていくものですので、そういったところをバランス良くといったところと、財源も含めた重点的に取り組む施策といったところを選択して行って、まちづくりを進めていくというような考え方で策定していくといった形で考えているところでございます。

小川委員

ありがとうございます。

続いて2点目、2ページ目ですが、計画の構成と期間の(3)実施計画の中で、計画期間は3年間を基本とします。そして1年ごとに見直す方式(1年ローリング方式)としますというふうにあるのですが、これで進めていくときに、総合計画を作って、あと単年度計画を作るわけですよね、結局のところローリング方式ですから。そのときに総合計画だと任期に合わせて4年分ですよね。そこで当初予算の金額を表示するのか。だから、財政事情がひっ迫しているんだったら、その計画を作るときに、会社でいうと中期計画じゃないですか。4年分の大まかな予算を立てておいて、それで単年度ごとにその予算を見直すことによって、インプットの節約ができるのかどうかというところをつけていく

のか、そういう計画の作り方をするのかなどと思って質問させていただいたんです。

このたび、山武市様の審議会に名前を連ねるに際して、周辺自治体の総合計画をちょっと参考がてらネットサーフィンしながら拝見したんですけれども、佐倉市はやっているんですね。財政がそれだけ厳しいんだっただらば、総合計画を作るときに大まかな4年間の予算規模を示して、ローリング方式だから単年度ではまた見直されたものを反映させるというような方式をとるのか、ちょっとその辺確認させてもらえるとありがたいなと思って質問しました。

金子会長

それでは、事務局、回答をお願いいたします。

越川企画政策課長

ありがとうございます。山武市は実施計画の方で一応3年間という中で、3年後の予算的な大まかな予算枠を立てます。その中で当然、毎年事業の見直しとかいろいろ展開、方向性を変えながらやっていくという形の中で、佐倉市さんみたいに、基本計画が4年なので4年分の事業に合わせた予算をやっていた中で全体にどうかというやり方です。それについては、当市としても、期間としては3年ですけれども、同じような予算規模を示した中でローリングしながらやっていくということで、佐倉市さんとそんなに変わりはないのかなというふうに思っています。

小川委員

3点目なんですけど、総合計画と連ねて、地方創生の戦略も両輪回していくというところはどこの自治体も同じだと思うんです。私は神崎町で地方創生に関わっていて、発言させてもらっているんですけれども、その際、総合計画の方で気になる点があるんですけど、地方創生の場合、2050年、もしくは長期だと、もうちょっと先の人口動態まで見据えていますよね。そうすると、総合計画を作るときに、その人口動態を見据えながら、どの程度少ない予算まで下がってしまうのかということ念頭に置きながら作っているのかなと。簡単に言うと、人口が減っていけば、当然のことながら歳入が減少して財政が縮小していきます。そうなったときに、今だったら平成29年、人口に併せて減っていく状況を、昔に遡ったときの財政規模で考えてやるのかという意味なんです。だから、人口が減れば、当然歳入が減ってくるから、昔の昭和40年代のイメージで、そこに合わせた行政改革とか、そして財政の見直しとかというふうにモデルを置くのかを伺いたいなと思って。

正直、今の財政のもとで作られている仕事を全部回そうとすると、皆さんプロフェッショナルだからご存じだと思うんですけれども、当然無理じゃないですか。この予算規模を維持できないので。人口が減っていくわけですから。だから、そうすると、何か手をつけなきゃいけないので。そうなったときに、イメージとして昭和55年ぐらいの人口動態なのか。もちろん構成比は違いますよ、今の場合、高齢者の方が一番比重が大きくなっていますから。だから、そ

金子会長	<p>ういうことをちょっと念頭に置いているのかなと思って。</p> <p>だから、行政改革にしても、その当時やっていなかった仕事を今だからこそやっているものってあるじゃないですか。だから、その辺まで見直すのかなと思って。ちょっと計画を作るに当たって、どういう方針なのか、3点ほどちょっと質問させていただいたわけです。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、事務局から回答をお願いいたします。</p>
越川企画政策課長	<p>2050年の地方創生を見据えてという中で、当然、市も10年後を見据えた中で、とりあえず財政の長期計画の組み立てを現在しております。そういう中で、人口が今後減っていくわけで、当然歳入も減っていくだろうという基本的な考えの中で、将来的にその辺を見据えた中で、財政の見直し等も図りながら進めていくと。要は、将来にわたって持続可能である、そういった計画等をしていきたいというふうに考えながら進めてまいります。</p>
小川委員	<p>ありがとうございます。以上です。</p>
金子会長	<p>この後の議事におきまして、本条例の内容を読み解いて、具体的に山武市が取り組むべきことをまとめた部分の審議になりますので、時間の都合上、議事を先に進めさせていただきたいと存じます。</p> <p>なお、このほかにご質問がある場合には、別途、事務局でお受けさせていただきますので、申しわけございませんが、ご了承願います。</p> <p>では、続きまして、(2)基本構造の構成及び基本計画骨子案についてに移らせていただきます。こちらは資料2-1、資料2-2、資料2-3のそれぞれの説明を受けながら、審議を行いたいと思います。</p> <p>それでは、事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>事務局から議事(2)基本構想の構成及び基本計画骨子案について、前半部分になります基本構想の構成についてご説明差し上げます。資料は2-1のオレンジ色の帯が入ったものをご用意ください。では、着座にて失礼いたします。</p> <p>今回の第2次総合計画の策定ですけれども、先ほど序論の説明でもございましたとおり、総合計画条例というものを新たに設けまして、自主的に作成するものとなっております。その策定に当たっては、議会の議決というものが必要となっておりますので、基本構想というものはどういった考え方で作られていて、実際に基本構想とはどういうことなのか、そういった状況を指し示すまちづくり指標を用いたり人口推計を行ったり、土地利用構想を掲げたりいたしまして、市民の誰もが知っておくべきことを端的に分かりやすくまとめたものが今回の基本構想となっております。今後さまざまなご意見を踏まえながら作</p>

り上げていく必要があるというふうに考えてございますので、本会議におきましては、このような構成でよろしいのかどうかというところをご確認いただければというふうに考えてございます。

では、内容部分のご説明をさせていただきます。

1枚目の1、基本構想の考え方です。基本構想は、山武市のまちづくりの普遍的な方向性を示すものとして明記してございます。計画期間は4年間で、後ほどご説明いたします基本構想やまちづくり指標の達成については、市長の施政方針を踏まえた基本計画で定めるという形をとってございます。

続きまして、2、基本構想の部分になります。まちづくりの大きな考え方を3段落にまとめまして表現させていただいております。

まず、1段落目でございますが、市民アンケートや転入・転出者に向けたアンケートの結果でも、山武市というのは自然環境に対する満足度が高い状況でして、また、守りつないでいただきたいというようなご意見も非常に多うございますので、市にとっては、海岸、田園、丘陵という豊かな自然環境を生かしたまちづくりを第1に据えてまちづくりを行っていききたいというところで書かせていただいております。

第2段落目といたしましては、市を取り巻く外部環境で最も大きなものは成田国際空港と圏央道ネットワークになりますので、成田国際空港と圏央道ネットワークを意識したまちづくりを進めるということを明記させていただいております。補足といたしましては、千葉県が今年2月に発行しました新総合計画というものもありまして、こちらで山武市というのは、空港ゾーンと圏央道ゾーンの2つのゾーンに位置づけられておりますので、県の総合計画とも整合性を図っている部分となっております。

最後に、3段落目といたしましては、後ほどご説明いたします人口推計においても、人口減少自体は免れないような状況となっておりますので、今後、定住促進に加えまして、シティセールスの取組を行うことで人口維持に努めるということを書かせていただいております。

また同時に、人口の高齢化というものも大変進んでおりますので、医療、福祉、災害対応であるとか、さまざまな特殊詐欺等の犯罪も起こってきておりますので、そういったところの安心・安全の確保や、また、限られた財政の中でも公共施設や公共サービスというものの維持というところで必要な部分もあると思いますので、将来にわたって持続可能で魅力あるまちづくりを進めますという形で位置づけさせていただいております。

簡単ですが、2の基本構想の説明については以上です。

続きまして、次のページをご覧ください。2ページ目に移ります。3といたしまして、基本構想の状況を示すまちづくり指標というものを今回新たに示させていただきます。

8つ設けておりますので、簡単にご説明いたしますと、①から③までは1つのパッケージになっておりまして、①の山武市の人口の下げ幅をいかに減らす

かというところに対応しまして、自然動態を示します②の合計特殊出生率、社会動態の改善を示します③の社会人口増減数というものをそれぞれ位置づけさせていただいております。

それから、産業、雇用、教育関係の施策の結果として向上が見込まれます④の納税者1人当たりの所得と、現在、市で行っておりますエコノミックガーデニング推進事業の取組が反映されてきます⑤の地域経済循環率を位置づけております。

⑥の市内・近隣市への通勤・通学割合は、現在の地方創生の考え方では、山武市に住み続けながら働けるというコンセプトで、成田空港方面への就業の流れの創出に取り組んでおりますので、定住促進を図るものとして位置づけをさせていただきます。

⑦の山武市の認知度は、シティセールスに係るものとして位置づけを行いまして、⑧の山武市が住み良いと思う市民割合は、施策全体の取組状況の判断というのは、最終的に市民の満足度につながるだろうと考えますので、こちらのとおり位置づけさせていただきます。こちらがまちづくり指標の簡単な説明でございます。

続きまして、3ページをご覧ください。先ほど小川委員からもございましたとおり、市で策定を行っております山武市まち・ひと・しごと創生総合戦略というものがございまして、こちらで人口推計を2015年時点から45年分の2060年まで推計を行ってございます。一番下の黒い線が、自然体で山武市が今後、人口推計を行いますと、2060年時点では2万3,000人まで落ち込んでしまいますが、国の取組に併せました出生率の改善ですとか20代の転出を抑えることによって、最終的に3万人をキープするような目標を立ててございます。

本総合計画の時期、おおむね2期から3期分となります10年後の人口推計といたしましては4万6,800人から4万7,200人を想定したいと考えてございます。

続きまして、ページをおめくりいただきまして、4ページ目、5ページ目をご覧ください。5に土地利用構想を掲げております。本土地利用構想につきましては、現行の総合計画の考え方を継承いたしまして、市内を大きく4つのゾーニングとして、秩序ある発展を目指したいと考えてございます。①が丘陵価値創造ゾーン、②が市街地ゾーン、③が田園価値創造ゾーン、④が海浜レクリエーションゾーンという形で振興させていくことを考えて示させていただきます。

以上、雑駁ではございますが、基本構想の説明となります。

金子会長

ありがとうございます。事務局から、資料に基づいて、(2)基本構想の構成及び基本計画骨子案のうち、資料2-1、基本構想(構成案)について説明がありました。こちらは、大きく山武市のまちづくりの方向性を示すもので、現在の計画よりコンパクトに分かりやすくまとめられたものだったかと思いま

<p>小川委員</p>	<p>す。とりわけ、まちづくり指標は、行政評価を導入している山武市ならではの工夫されている部分であるかと思えます。こちらについても質疑応答に移りたいと思えます。</p> <p>この内容につきまして、何かご確認されたいことやご意見などございましたら、挙手の上、ご発言をお願いしたいと思います。それでは、お願いします。</p> <p>また質問させていただきます。資料2-1の基本構想案の1ページ目の基本構想、成田国際空港と圏央道ネットワークを意識したまちづくりを進めるとあるんですが、ちょっと圏央道については未知数のところがあるので外しておきたいんですけども、これまで山武市に居住されている方で、成田国際空港で働いている方々の割合というのはどれぐらいいたんですか。何が聞きたいかという、成田国際空港と密接な関係が経済の面で山武市は強かったのかどうかというところなんですけれども。</p>
<p>金子会長</p>	<p>それでは、事務局から回答をお願いします。</p>
<p>越川企画政策課長</p>	<p>実際に成田空港で今、雇用が大体4万ちょっとあるのですけれども、その中で山武市としては、データはちょっと古くなっちゃいますが、平成20年当時でいいますと666人、パーセントでいくと、この旧市町の中で1.6%、そのくらいの割合なので、その辺はやっぱりもう少し勤めやすい環境を今後作っていかうというふうに、今取組を進めているところでございます。</p>
<p>小川委員</p>	<p>では、ここは多いに伸び代がある施策だというふうにお考えなのでしょうか。</p>
<p>越川企画政策課長</p>	<p>施策としては、今、成田空港の機能強化に伴いまして、雇用が約7万強になるという中で、空港まで30分から40分程度で行ける環境にありますので、その辺は山武市の今後の強みとして生かしていければというふうに考えてございます。</p>
<p>小川委員</p>	<p>分かりました。ありがとうございます。ここは伸びしろがありそうだから、戦略的に、重点的に資源を配分する可能性があって、伸びしろがあると見込んでいるわけですね。</p> <p>続いて、もう一点なんですけど、平成39年、2027年年度末人口を4万7,000人前後で見たいじゃないですか。今から約1万人減るわけですけども、資料の3ページ目、そのときの山武市の財政規模がどれぐらいになるか推計されていますか、シミュレーションで。1万人減った場合に、どれだけの財政規模があればいいのか、特に歳入ですね。</p>
<p>金子会長</p>	<p>事務局からいかがでしょうか。お願いいたします。</p>

鈴木財政課長	<p>財政課の鈴木と申します。ご質問ですけど、平成 39 年度までは今作成しているところで、以前に作った資料で平成 37 年度までがございまして、平成 37 年度の歳入歳出の予算規模が、193 億 8,000 万円という数字は一応ありますが、今回、総合計画を作りますので、10 年間の長期財政計画と、先ほどおっしゃってございました実施計画に基づく 3 年ローテーションの計画に併せて、今、集計中でございます。</p>
小川委員	<p>40～50 億円減るとい見込みなんですか。</p>
鈴木財政課長	<p>計画ではそのようにもちろん見ております。ただ、近年、これは合併当初も 200 億円を切るような予定で見込んでおりましたが、実際、先ほどありました震災の関係であったり、扶助費の関係であったり、その他の合併に係る統一事業であったりという事業がありましたので、実質、まだ来年度予算も 212 億円ということで、200 億円を切るような予算ではありませんが、今後、先ほどありました身の丈に合わせる予算ということで、需要と歳入のバランスをとりながら、その辺は身の丈予算に編成していく方向でございます。</p>
小川委員	<p>ありがとうございました。</p>
金子会長	<p>ありがとうございます。その他はよろしいでしょうか。時間の都合もございしますので、議事を先に進めさせていただきたいと思ひます。このほかに質問がある場合には、別途事務局でお受けさせていただきますので、申しわけございませんが、ご了承を願ひます。</p> <p>今回は基本構想の構成案として、事務局から基本構想の組み立て、1・基本構想の考え方から 5・土地利用構想までの構成でよいかというご確認の説明であったかと思ひます。1から5までの構成案につきまして、問題がないかどうかというのを皆さんに確認させていただきたいと思ひますが、問題ないということよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>(委員から異議なし)</p>
金子会長	<p>ありがとうございます。それでは、基本構想（構成案）としましては、異議なしとしたいと思ひます。</p> <p>ここで 10 分程度休憩時間を取りたいと思ひます。2 時 45 分に会議を再開したいと思ひますので、それまでにお座席にお戻りいただければと思ひます。それでは、よろしくお願ひいたします。</p> <p>会議休会 【 2 時 35 分】</p>

会議再開

【2時45分】

金子会長

それでは、皆さんおそろいのようにございますので、会議を再開したいと思います。

では、休憩前に引き続きまして、(2)基本構想の構成及び基本計画骨子案についての審議を行いたいと思います。休憩前は基本構想部分の審議でしたが、休憩後は基本計画部分の審議を行いたいと思います。こちらの審議につきましては、6つある政策ごとに説明を受け、それぞれの政策に関して質疑をとる形にしたいと思います。

それでは、事務局の説明をお願いしたいと思います。

事務局

事務局から基本計画部分についてご説明いたします。事前にお配りしました資料2-2、A3縦の1枚を使って、第2次総合計画に係る施策、基本事業について、骨子として現状を踏まえた組み立てを行っておりますので、ご説明いたします。また、資料2-3、A4横のホチキス留めの資料に、施策、基本事業の成果をはかるための成果指標を整理しておりますので、施策、基本事業の骨子案と合わせてご説明いたします。着座にて説明させていただきます。失礼します。

まず、資料2-2、第2次総合計画基本計画(骨子案)をご覧ください。表の左側でございますが、現行計画の6政策29施策の体系を記載しています。その右側の表は仮設定になっておりまして、第2次総合計画の変更案として6政策25施策を記載しているもので、赤字下線のある施策名(案)は、施策の統合と取組内容を考慮しまして、名称変更したものになっております。その右側の基本事業(案)につきましても、施策の統合や環境変化、課題等の洗い出しによって見直しを行っており、現行総合計画の120の基本事業を107の基本事業に整理し、まとめております。赤字が新規、緑字が変更、整理統合が青字で記載しております。また、2つの表を見ていただきますと、矢印の表記がございます。青矢印につきましては、業務の所管替えや施策内容の振り分けによって施策を統合したもので、施策が減少したことを表しております。

上から順にご説明させていただきます。変更案の上段、政策1、1-1を「地域核をネットワークする都市整備の推進」としております。これは現計画の1-1「道路網の整備・充実」、1-4「都市の整備」、2-7、「交通安全対策の推進」の3つの施策を市全域を視野に入れた施策とするために統合し、施策名称を変更しております。

続いて、その下の政策2をご覧ください。現計画の2-5を「汚水処理の推進」としておりましたが、公共下水道の整備計画がなくなったことから、2-3「自然環境の保全」の中に基本事業の⑤として「汚水処理の推進」を整理しております。現計画の2-6「防犯対策の充実」と2-7「交通安全対策の推進」を統合し、「防犯・交通安全の推進」としております。

続いて、表の中段の政策3になります。3-2「商工業の振興」を現在市で

行っております中小企業・小規模事業者への支援体制に即した形で、「地域経済の振興」として名称変更をしております。2つ下の現行総合計画で掲げておりました施策名3-4「シティセールスの充実」につきましては、赤と青の矢印で表記してございます。赤矢印では、先ほど基本構想の中でも説明がありましたが、シティセールスの考え方を全施策において横断的に取り組んでいくことから、1つの施策とせず、基本構想へ記載を加え、まちづくりの指標として掲げることとしております。また、青矢印の部分は具体的な事業の流れとなりますが、現計画の6-2「開かれた市政」を「まちの魅力発信の推進」と変更し、市内及び市外への情報発信の強化として整理しております。

続いて、政策5になります。現計画の5-4「学校家庭地域の連携」をそれぞれの実施主体に合わせて、5-1「学校教育の充実」と5-2「生涯学習の推進」の2施策に整理統合しております。施策の統合については以上となります。

それでは、政策1から順に、施策、基本事業及び成果指標について、大きな変更点を中心にご説明いたします。資料2-2の右側の表の上段をご覧ください。政策1は3つの施策で構成しております。まちづくりの分野としましては、都市基盤の整備を行うための施策、基本事業となります。限られた財源の中で市民が快適に暮らせるように、道路網や交通手段の確保を含めた交通網の整備充実を図っていくもので、同時に安心・安全に暮らしていくためには、防災対策の充実も必要となります。そのための取組を施策、基本事業としてお示ししております。

本施策の変更点としましては、右側の表にあります、先ほども説明いたしました、1-1を「地域核をネットワークする都市整備の推進」としまして、施策を実現する手段として、①「道路網の整備・維持管理」、②「成田空港周辺地域としての基盤整備」、③「浸水対策の推進」、④「駅周辺の利便性の向上」、⑤「公園の適正な管理」、⑥「まち並み・家屋・土地の適正管理と有効活用」、これらの6つの基本事業を考えております。その下、1-3「防災・減災対策の推進」では、地域防災力の向上や強靱化対策の推進に取り組んでまいります。

施策、基本事業の成果を表すモノサシとして成果指標を設定しておりますので、資料2-3の1枚目をご覧ください。表の左側に施策名及び基本事業名、右側にその達成度、成果を表す成果指標をお示ししてございます。表の上段にあります1「地域核をネットワークする都市整備の推進」では、「都市施設（道路、公園、排水路、駅周辺）の満足度」を市民アンケートによって取得いたします。その下にあります基本事業1「道路網の整備・維持管理」では、現計画の成果指標は、「幹線道路の満足度」と「生活道路の満足度」をそれぞれアンケートによって集計してございましたが、(1)「道路の拡幅・改良・新設延長（計画期間累計）」とし、実際にどの程度整備を実施したのかというのを把握するようにしております。加えて、(2)「道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数」を成果指標とすることで、適正な維持管理ができていたのかを

	<p>把握します。</p> <p>施策の2「公共交通網の整備・充実」をご覧ください。基本事業の2に「バスでの主要都市へのアクセス向上」とあります。現計画では、「主要都市への1日当たりのバス利用者数」を指標としておりましたが、千葉方面と成田空港方面に分けて把握することで、成田空港方面へのアクセス改善など、成田空港周辺地域としての今後の分析や対応を視野に入れております。</p> <p>政策1については以上となります。</p>
金子会長	<p>ありがとうございます。ただいま事務局から政策全体の変更案と政策1について説明がありました。ここまでの内容につきまして、何かご質問、ご意見ございましたら、挙手の上、ご発言をお願いいたしたいと思います。</p> <p>それでは、相原委員、お願いします。</p>
相原委員	<p>浸水対策の推進というのが地域核をネットワークする都市整備の推進の中に入っていますけれども、これは何かイメージとしては、防災・減災対策かなと思うのですけれども、違うのでしょうか。いや、分け方の問題ですが。</p>
越川企画政策課長	<p>それでは、施策の1-1ですけれども、③浸水対策の推進は新規ですけれども、これについては、今後、松尾駅の駅前の浸水対策ということで、計画としては5年ぐらい計画をして、今、台風ですとか大雨が降った場合に、駅前が浸水している現状が長年ずっとありましたので、それを何とかしようということで、新たに政策の方で基本事業に掲げてございます。</p>
相原委員	<p>個別事業として、松尾駅の近くなのでこのところに入れたということですか。いや、浸水というと、普通防災かなという感じがしたもので、すいませんでした。</p>
越川企画政策課長	<p>今まで懸案でありました駅前周辺の浸水対策に取り組んでいくということでございます。</p>
相原委員	<p>分かりました。</p>
金子会長	<p>ありがとうございます。他にございますか。</p> <p>そうしましたら、政策1につきましては、今の質疑をもちまして終了し、議事を先に進めさせていただきたいと思います。</p> <p>続きまして、政策2の説明を事務局をお願いしたいと思います。</p>
事務局	<p>では、政策2に参ります。資料2-2の右側の表の政策2をご覧ください。政策2は5つの施策で構成しております。まちづくりの分野としましては、暮</p>

らしやすい環境の整備となります。恵まれた自然環境と地下水を保全するため、不法投棄の防止などに努め、ごみの減量や排出抑制に取り組むことで、豊かな自然環境を守っていきます。生活環境としましては、公害や騒音への対策、また、防災・交通安全対策に取り組み、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます。

本施策の変更点としましては、2-2「廃棄物の減量・処理の適正化」において基本事業を見直しまして、①「3Rの推進」といたしました。現計画では、「ごみの減量化の推進」と、「再資源化の推進」という別々の基本事業としておりましたが、再利用という考え方を追加しまして、1つの基本事業として整理をいたしました。

これに伴い、成果指標の見直しもいたしましたので、資料2-3の2ページをご覧ください。中段に赤字で新規とございます(4)「リユースを意識して行動している市民の割合」を新たに設定いたしました。これによりごみの減量化、再資源化、再利用、この3点から、ごみの減量について成果を把握できるようにしております。

政策2については以上となります。

金子会長

ありがとうございます。ただいま事務局から政策2について説明がございました。この内容につきまして、ご質問、ご意見などございましたら、挙手の上、ご発言をお願いいたします。

それでは、鈴木謙治委員、お願いします。

鈴木委員

項目にある基本事業の方になると思いますが、汚水処理の問題、自然環境の保全の問題に関わる事業ですが、項目的に自然環境の保全に関わる内容で、工業用排水の規制とか、点検とかいう項目は入らないのでしょうか。

1つの例ですが、生活用排水、農業用排水の水路がございませけれども、そこに流れ込むある事業の排水が非常に汚濁をして、小さな魚やザリガニを含めまして、何回も流れ込むと死んでいる状況があります。生き返ると、また流れてくると死んでいると。これを私は環境課に、3、4年前にも3度ほど行って相談したんですが、その辺の生活排水の問題、工業排水の問題、これの、いわゆる行政から点検をするような事業の項目が何か入らないのかなと今思ったのですが、そういう項目がないので、それに対する捉え方をご説明いただきたいと思っております。

金子会長

ありがとうございます。

それでは、事務局からお願いいたします。経済環境部長、お願いします。

田上経済環境部長

経済環境部、田上と申します。よろしくお願いたします。

今の内容につきましては、いろいろと制度上のところで、県または市の方で

金子会長	<p>も指導等はできるかと思えます。この基本計画の中でそれをうたっていくというよりも、この施策・基本事業の中の事業として実施していく中で、また個々の項目として対応していくということになるかと思えますので、それにつきましては個別のところに対応させていただければと思います。</p> <p>ありがとうございます。 それでは、小川委員、お願いします。</p>
小川委員	<p>政策2で、新規に設定した成果指標について確認したいんですが、まず廃棄物関係で、リユースを意識して行動している市民の割合とありますが、このリユースというのはどこまで入るんですか。単純にいうと、BOOKOFFとか、そういうところで買い物をすることでリユースという言い方もあるじゃないですか。ああいうところまで入っちゃうと結構な割合になってしまうんですが、その辺はいかがでしょうか。</p> <p>あと同様に、防犯・交通安全の推進のところ、市民の交通違反件数とあるんですけども、これはとってどういう意味があるのかなと、成果指標に据えて。交通違反も幅広いじゃないですか。生命や財産に関わる重大な話もあれば、非常に軽微な話もありますよね。これはどこまで入るのかなと思って、新たに設けているので確認したいなと思って質問させていただきました。</p>
金子会長	<p>ありがとうございます。非常に興味深い指摘だと思うんですけども、事務局からお願いいたします。</p> <p>それでは、市民部長、お願いします。</p>
小川市民部長	<p>市民部長の小川と申します。ご質問ありがとうございます。</p> <p>交通安全の交通違反件数を指標に変えたというところで、今まではシートベルトに特化した業務取得、職員が行って定点観測、1日確認して、目視による確認によるシートベルトをやっている人の数とか、そういうものでやっていたんですけども、なかなか指標としては見直した方がいいんじゃないかという話し合いをした中で、違う指標という中で、交通違反件数というものに変えてみたというところがあります。それは山武警察署に行きまして、年間の交通違反件数を警察の調査の中で聞き取って、その件数で指標にしてみたというところがございます。確かに、重大な事故、違反から軽微なものまであるんですけども、そういったものの中で分析しながら、どういう取組で、そういう違反件数を減らしていけるのかというところを事務事業の中で取り組んでいくということで、この指標にしてみた。重い違反、軽い違反も、今回は含めて全部件数としてとって、その中で分析をしていくという意味合いで、まずはこの指標に載せていくということでございます。</p>

小川委員	<p>それは別に山武市でわざわざやる必要があるのかなと思って、そういった違反をやった方というのは、免許の更新のときに行政罰の残りとしてゴールド免許になれないとか、いろいろあるじゃないですか。事故を起こしたときに、行政罰、刑事罰、民事罰という。これを取り締まる、この違反件数を分析することで何か追加のメリットがあるのかなと思ったんですよね。それは警察がやっていることだし、わざわざ市の中で予算をかけて、こういう成果指標を作るといのは意味が分からなくて何った次第なんです。</p>
小川市民部長	<p>ありがとうございます。私ども、交通安全協会、警察と一緒に啓発活動する団体も市の中で組織化してやっています。そういう中で、犯罪をした方を逮捕するのが警察、警察も啓発をやりませけれども、一体となって啓発をして、交通違反を減らしていくという取組は、市の事業として今もやっていますし、今までもやっていたことです。そういう取組をやっていく指標として、減った減らないというのが分かれば、その啓発のやり方が改善していけるものがあれば、こういう指標を見ながらやっていく、そういう取組の中の指標ということになっています。警察だけが取り締まって交通違反を減らしていくということではないと考えて、今、取り組んでいるところでございます。</p>
小川委員	<p>それだったら、各学校に交通安全協会の方々が来て啓蒙活動をやっている、その普及率の方がまだ生産的かなと思って。その違反件数がばっと出ちゃうと、まちのイメージが悪くなるんじゃないかと思って、それがちょっとシティプロモーションとかを考えていくときに、「あれ、意外と山武って交通違反の件数が多いぞ」とかとなったときに、イメージにそごを来さないかなと思って、指標の設定の仕方に矛盾があるんじゃないかなと思って言ってみました。</p>
小川市民部長	<p>ありがとうございます。なかなか担当部署として指標を作るときに、シティプロモーションという視点まで考えていなくて、実際、生の数字がどのぐらいあるのか、そのところから取組がうまくやっていたらというところから考えてしまったので、こういう指標を今回載せさせていただきましたけれども、参考にさせていただきます。ありがとうございました。</p>
金子会長	<p>それでは、リユースにつきまして経済環境部長からお願いします。</p>
田上経済環境部長	<p>経済環境部、田上です。 リユースにつきましては、3Rの推進ということで、今までリユースについての指標をとっていませんでした。そんな中で、リユース、再資源化等についても、その数字を取りたいということで設定をさせていただきました。実際のところ、やっぱり指標を設定するというのはなかなか難しい中で、今現在では、まちづくりアンケートの中で市民を無作為に抽出して、その中で要らなくなっ</p>

	<p>た私物を買取り店に持ち込んだり、ネット販売等をしたことがあるかという ような問いに対しての数字を取ろうということで、今、予定をしているもので ございます。</p>
金子会長	<p>ありがとうございます。 それでは、企画政策課長、お願いします。</p>
越川企画政策課長	<p>今いただいたリユースの関係と交通違反の関係、貴重なご意見をありがとう ございます。それを承りまして、また事業の担当課の方と再度検討させていた だきたいと思います。</p>
金子会長	<p>ありがとうございます。それでは、政策2につきましては、先ほどの質疑を もって終了し、議事を先に進めさせていただきたいと思います。 続きまして、政策3の説明を事務局にお願いしたいと思います。</p>
事務局	<p>では、続いて、資料2-2の政策3をご覧ください。政策3は、3つの施策 で構成しております。まちづくりの分野としましては、産業経済の振興となり ます。農林水産業では、担い手の育成や生産基盤の強化等、安心して農林水産 業を続けることができる環境づくりが必要となります。商工業では、エコノミ ックガーデニングによる市内の中小企業、小規模事業者の育成や、成田空港周 辺9市町の地域間連携を通じた成田空港経済圏の形成によって、地域経済の健 全な発展を目指します。観光業では、夏季中心の観光から通年型の観光地づく りを目指して参ります。</p> <p>本施策の変更点としましては、3-1「農林水産業の振興」では、基本事業 ①に「経営の安定化の推進」を新規に設定し、経営所得安定対策事業など、経 営の安定化に対する取組を特出したいたしました。3-2「地域経済の振興」で は、基本事業④に「成田空港経済圏の形成」を設定し、まち・ひと・しごと創 生総合戦略にも掲げている成田空港周辺自治体としての取組を明確にいたしま した。3-3「観光の振興」では、基本事業③に「観光情報の発信」を設定し、 PRの強化を打ち出しております。</p> <p>政策3の成果指標についてご説明いたしますので、資料2-3の4ページを ご覧ください。まず、上段の「農林水産業の振興」の基本事業1「経営の安定 化の推進」では、(1)「耕作面積」、(2)「家畜伝染病発生件数(酪農、養豚、 養鶏)」によって、その成果を測るものとしております。</p> <p>続いて、下段の「地域経済の振興」の基本事業4「成田空港経済圏の形成」 では、その成果を(1)「成田空港周辺自治体としての取組件数」、(2)「成田 空港関連の市内従業員数」、この2点によって、地方創生関連事業も含めて成果 を把握しようと考えております。</p> <p>次に、5ページをご覧ください。「観光の振興」の基本事業3「観光情報の発</p>

金子会長	<p>信」では、(1)「観光協会ホームページ閲覧数」、(2)「SNSでの発信件数」、(3)「各種PR回数」により成果をはかるものとしております。</p> <p>政策3については以上となります。</p> <p>ありがとうございます。ただいま事務局から政策3につきまして説明がございました。この点につきまして、何かご質問、ご意見などございましたら、挙手の上ご発言をお願いいたします。</p> <p>相原委員、お願いします。</p>
相原委員	<p>ネーミングなんですけれども、施策名で商工業が地域経済の振興となっているんですけれども、地域経済ということになると、農林水産業とか観光とかは地域経済に入らないんですか。もうちょっといいネーミングがないかなという点です。</p> <p>それと市内購買力の向上というのは、指標を見ると、市内で市民が商品を買う、その人の割合がという話になるんですけれども、ここを市内購買力の向上というとな何を求めているのか、何かうまいネーミングがないかなと。どうも市内購買力というとな、何か買う力の話なので、ネーミングだけですけれども、ちょっと気になったという点でございます。以上です。</p>
金子会長	<p>ありがとうございます。それでは、経済環境部長、お願いいたします。</p>
田上経済環境部長	<p>1点目の地域経済の振興につきましては、今までは商工業の振興というふうに進んできましたけれども、今、その商工業を中心としまして異業種交流ということで、農林業等、また観光業等も関連していくという中で、少し規模を大きくしたいということで経済の方に名前を変えているというものでございます。</p> <p>2つ目のネーミングにつきましては、これからまた少し進めていく中で、今のご意見を含めまして検討させていただければと思います。今の中では、市内でどれだけのものが買われているとか、そういうものを指標としてとりたいということで、こういう名前になっていますけれども、ちょっと検討させていただければと思います。</p>
金子会長	<p>ありがとうございます。他にございますか。それでは、小林委員、お願いします。</p>
小林委員	<p>1点聞きたいんですが、3-3新規の「SNSでの発信件数」は、SNSは何を使って発信していますか。</p>
金子会長	<p>それでは、事務局の方からお願いしたいと思います。経済環境部長、お願い</p>

	<p>します。</p>
田上経済環境部長	<p>SNSでの発信件数ということで、基本的にはSNSといわれるようなフェイスブックとか、種類があるかと思えますけれども、それらの項目を明確にして、その数字を取りたいと考えています。</p>
小林委員	<p>あくまでも観光に特化したSNSの活用ということですか。</p>
田上経済環境部長	<p>そうですね。観光情報を発信するということで、そのSNSで発信した数ということですか。</p>
小林委員	<p>ちょっとずれるかもしれませんが、今後、SNSのこういったものを利用して、市全体のことを発信していくことはありますか。例えば、今、活躍する世代が最も使うようなLINEだったり、ツイッターなどを活用して、聞きたいことを瞬時に答えてくれるようなシステムを作るとか。</p>
金子会長	<p>市全体についてということですが、事務局からお願いします。 それでは、総務部長、お願いします。</p>
石橋総務部長	<p>今、市の方の発信は、主にホームページが中心になっております。ただ、今、時代の流れでいって、どうしてもSNSを使った、瞬時に情報発信という形になっておりますので、そちらについて検討していくということで数値として載せさせていただいています。</p>
小林委員	<p>ありがとうございます。</p>
金子会長	<p>ありがとうございます。どうぞ、鈴木委員、お願いします。</p>
鈴木委員	<p>3-3「観光の振興」なんですが、新たに新規事業で、観光に来るまちと今もありましたが、市としてすごいグローバルなところを今やっているかなと私も思います。松尾高校にしても、スリランカの誘致についてもいろいろあると思うんですが、観光の分野で、観光客を見据えた上で、国内だけではなく、国外、インバウンドというところでの視点もこの中に含まれているのかと、思っているんですが、いかがですか。</p>
金子会長	<p>それでは、経済環境部長、お願いします。</p>
田上経済環境部長	<p>よく言うインバウンドに関しては、今後の大きな課題だと考えておりますので、この観光振興の中で、その辺も対応を考えていかなければいけないという</p>

	<p>ことで、今、検討を進めています。</p>
鈴木委員	<p>分かりました。</p>
金子会長	<p>今の議論の関係で私からも伺いたいんですが、例えば海外からの観光客数を指標に取るということは議論されませんでしたか。お願い致します。</p>
田上経済環境部長	<p>なかなかインバウンドに関しては、まだまだ今、実際のところ、ほとんど手がつけられないというか、課題にしている状態でしたので、今の中では、まだ指標として取ろうということにはできていませんので、会長からのご意見もありますので、またこれから検討していく中で考えてみたいと思います。</p>
金子会長	<p>ありがとうございます。 それでは、小川委員、お願いします。</p>
小川委員	<p>観光の振興のところで、観光情報の発信について私も申し上げたいんですが、そもそもこれは閲覧数が少なからうがあろうがやるべきことなんじゃないですか。だから、新規に件数とか回数とかを設定することに意味があるのかなと。そもそも立地条件から考えて、あと、四季折々のイチゴ狩りのツアーとかもありますので、常に情報は発信し続けておかないと、やっぱり埋没してしまうことがあるので、わざわざ回数がどうのこうのというのは意味があるのかなと思うんです。</p> <p>また、例えば、SNSでの発信件数とかというのものもあるんですが、多種多様の媒体がありますし、場合によっては、それを活用して防災情報を流したっていいわけじゃないですか。集中豪雨が来ていて、あの地域が浸水し始めているんだっつらば、その情報を流した方がいいわけだし。実際に、千葉の熊谷市長とか、そういうことをしているから、機会があれば、市長のツイッターとかブログとかというのものあってもいいんじゃないかなと思うんです。</p> <p>そう考えたらば、これの更新頻度とか、あまり意味があるのかなと。ちゃんとホームページやそういうSNSを管理する人がいればいいだけの話で、あとは運用の仕方だけだと思うんです。だから、そもそもやるべき仕事で、ここまで成果指標をつけなきゃいけないことなのかなと思うんですけど。</p>
金子会長	<p>ありがとうございます。事務局から何かございますか。 それでは、経済環境部長、お願いします。</p>
田上経済環境部長	<p>今言われたとおりに、PRなどの情報発信というのはやらなければいけない内容だと思います。そんな中で、今、実は弱い部分ですので、ここについて意図的にというか、この観光情報の発信が強化され、周知されていくようにとい</p>

金子会長	<p>う目標を立てています。そういう中では、活動指標に近いんですが、指標をとるのに難しかったので、今、こういう指標を立てているというところがございます。また、ちょっと検討が必要かと思っています。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>観光についての議論が進められていますが、観光協会会長の浪川委員、何かございましたらお願いします。</p>
浪川委員	<p>外国人のインバウンドの話が出たんですが、山武市の現状としては、コンマ何%で、1%に満たないと思っています。私も旅館をやっていますけれども、団体さんの中に一緒に混じってくると言った方がいいんですか、それが現状です。山武市内に関しては、どこも、まだ受け入れられる体制が整っていないというのと、来ないからやらない、そういった状況ですね。ほとんど皆さん、あまり念頭に置いていないと言った方がいいんだと思います。現状としては、そういった状況になっています。</p>
金子会長	<p>ありがとうございます。そうしましたら、政策3につきましては、これをもって終了しまして、議事を先に進めさせていただきたいと思います。</p> <p>続きまして、政策4の説明を事務局にお願いしたいと思います。よろしくお願いします。</p>
事務局	<p>続いて、政策4になります。資料2-2、政策4をご覧ください。政策4は、5つの施策で構成しております。まちづくりの分野としましては、保健・福祉・医療の充実になります。少子高齢化の進展により、高齢化への介護予防支援の取組や、少子化による子育て家庭に対する環境づくりが必要となっております。また、地域の助け合いによる福祉の推進や自立支援に向けた障がい福祉を充実し、誰もが平等に生きる権利を実現する体制の構築を図ってまいります。</p> <p>本施策の変更点としましては、4-4「子育ての支援」では、基本事業⑥に「次世代育成に係る家族形成の支援」を新規設定し、妊娠、出産以前の結婚や家族を形成するという意識の部分で、少子化社会への対応を検討しました。次に、4-5「地域福祉の充実」を、「地域福祉の充実とセーフティネットの推進」として名称を変更いたしました。これは基本事業③に「生活困窮者自立支援の充実」を新設し、現在の福祉施策に求められている内容を整理したことによります。</p> <p>政策4の成果指標についてご説明いたしますので、資料2-3の7ページをご覧ください。7ページ上段、「子育ての支援」の成果指標につきましては、(1)「子育てが幸せ、楽しいと思う乳幼児の保護者の割合」と、(2)「この地域で子育てをしたいと感じる乳幼児の保護者の割合」といたしました。現計画では、「子育てに不安を持つ保護者の割合」を、毎年度実施しております市民アンケ</p>

	<p>ートによって取得しておりましたが、こちらの新たな2つの指標につきましては、既に乳幼児の健康診断時に診査票によって取得している数値を指標としております。</p> <p>次に、基本事業6、「次世代育成に係る家族形成の支援」の成果指標につきましては、(1)「出生者数(計画期間累計)」と(2)「独身者のうち結婚したいと思う市民の割合」となっております。この(2)につきましては、厚生労働省が実施しております「出生動向基本調査(結婚と出産に関する全国調査)」、こちらの設問を参考に毎年度実施しております市民アンケートで取得したいと考えております。</p> <p>政策4については以上となります。</p>
金子会長	<p>ありがとうございます。事務局から政策4について説明がありました。何かご質問、ご意見などがございましたら、挙手の上ご発言をお願いいたします。</p> <p>それでは、小林委員、お願いします。</p>
小林委員	<p>だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくりとあるんですが、この中に入っていないタイプの人というのにも注目したらいいかなと思うんですけども、例えば、セクシャルマイノリティーという人たちは、クラスが40名だとしたら1人はいると言われています。そういった方がこの中のどれに当てはまるのかなという、障がい者でもないですし、パートナーというのは同性かもしれないですし、同性でも何でもない人もいらっしゃいます。そういうところにも着目して、そういう人も、この町に住んだら、差別などがないまちだと思ってもらえるようにしてもらいたいかなと思ったんですが、その辺はどう考えていらっしゃいますか。</p>
金子会長	<p>ありがとうございます。保健福祉部長、お願いいたします。</p>
川島保健福祉部長	<p>ただいまの意見でございますけれども、子育ての支援という形の中で、ある程度は考えられるのかなという気がするんですが、1つは子供の人権尊重、そういった中で、おっしゃいましたセクシャルマイノリティーの方、そういった部分も含めた中での支援ができるのかなとは考えています。</p>
小林委員	<p>本当のところをいうと、分かってくる、そういったセクシャルマイノリティーの方の立場でいうと、もう少し先の年代のことかなと思うので、もう少し幅広い、各年代で考えてもらった方が良いのかなと思いました。</p>
金子会長	<p>保健福祉部長、お願いします。</p>
川島保健福祉部長	<p>実際に、性同一性障害とか、そういった部分の方が、今のお子さんの問題に</p>

小林委員	<p>なっているというのが大きいものですから、今おっしゃった部分というのは、ちょっと手薄になっているところがあるのかなとは考えています。</p> <p>そうですね。確かに、認知も含めて、小さいころから、そういうことがみんなの中で広まるまちづくりになるといいなと思いますので、そういう意味では子育てのところから世代を超えて認知が広まるような施策をお願いします。</p>
金子会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、企画政策課長、お願いします。</p>
越川企画政策課長	<p>今の件ですけれども、政策5-4「人権尊重のまちづくり」、そちらでも一応触れていますので、後ほどご説明させていただきたいと思います。</p>
金子会長	<p>それでは、小川委員、お願いします。</p>
小川委員	<p>確認がてらなんですが、これは多分抜け落ちがないと思っているんですけども、この政策4については、よく他の自治体で話題になる医療費の無償化とか不妊治療の補助とかというのは入れないというスタンスなんですね。ちょっと確認がてら。</p>
金子会長	<p>それでは、保健福祉部長、お願いします。</p>
川島保健福祉部長	<p>個々の事業の中で実施しているところがありますので、そちらで対応していきたいと考えています。</p>
金子会長	<p>ありがとうございます。それでは、政策4については、今の質疑をもちまして終了し、議事を先に進めさせていただきたいと思います。</p> <p>続きまして、政策5の説明を事務局にお願いしたいと思います。よろしくお願いします。</p>
事務局	<p>政策5に参ります。資料2-2の政策5をご覧ください。政策5につきましては、4つの施策で構成しております。まちづくりの分野としましては、教育・文化の振興となります。学校教育では、「活きた学力」をはじめとする生きる力を育む教育の推進を図るとともに、一人ひとりの個性や人権を尊重した学校づくりと地域の人たちの声や思いを反映できる仕組みを作ります。生涯学習では、芸術文化、スポーツなど、生涯にわたって自ら学んでいける学習の機会を充実させ、健康で長生きの喜びを実感できるまちづくりを進めていきます。</p> <p>冒頭でも説明させていただきましたが、5-1「学校教育の充実」は、施策の整理、統合をしましたので、それに伴い、基本事業⑤に「地域と学校の協力</p>

体制の推進」を設定いたしました。これまでも取り組んでいた内容ではありませんが、地域で子供たちを育てていくという視点の向上に努めてまいります。同様に、5-2「生涯学習の推進」の基本事業⑤に「青少年の育成」を設定し、異なる年齢や世代の人々との関わりの中での教育を目指します。それから、先ほど、小林委員から質問のありました部分については、5-4「人権尊重のまちづくり」の中の①「人権教育・人権啓発の推進」という部分で取り組んでまいります。

それでは、政策5の成果指標についてご説明いたしますので、資料2-3の8ページをご覧ください。上段の「学校教育の充実」、こちらの基本事業1『確かな学力』の向上と『活きた学力』の推進」の成果指標については、(1)「学力の向上が見られる児童の割合」、(2)「学力の向上が見られる生徒の割合」、(3)「中学校卒業時に英語検定が4級以上と認められた生徒の割合」としました。現計画では、学習意欲の向上や授業の理解度をアンケートによって指標を取っていましたが、(1)、(2)は標準学力検査の結果をもとに、実際に学力が向上しているかどうかによって成果を把握いたします。また、英語教育等の結果を(3)で把握します。

次に、下段、「生涯学習の推進」の基本事業5「青少年の育成」では、(1)「青少年育成事業・体験学習への児童・生徒参加者数」と(2)「海外派遣事業応募者数」によって、市で実施している事業への参加者数によって、その成果を測ることとしております。

政策5については以上となります。

金子会長

ありがとうございます。事務局から政策5について説明がありました。この点につきまして、何かご質問、ご意見ございましたら、挙手の上ご発言をお願いいたします。

この委員会に教育関係の委員の方が何人かいらっしゃっていますが、教育委員会の今関委員、何かありましたらコメントいただけますでしょうか。

今関委員

教育委員会では、特に今、英語教育に力を入れているので、その点を指標で表していただけっているのでとてもいいなと思っています。

以上です。

金子会長

ありがとうございます。これについては特に回答はよろしいですね。他に何かございますか。

P T A連絡協議会の土屋委員から何かありましたらお願いします。

土屋委員

少し気になったのは、3番の『豊かな心』を育む」のところで、道徳性、規律性がある児童・生徒の割合、それは学校の先生が判断されるのかなと思いました。

金子会長	<p>それでは、事務局の方からお願いいたします。小川教育部長、お願いします。</p>
小川教育部長	<p>教育部長の小川と申します。</p> <p>『豊かな心』を育む」の中の「道徳性、規律性がある児童・生徒の割合」でありますが、これは基本的には、市内の小学校6年生と中学3年生に対して、アンケートのような形で確認しようと思っています。内容的には、学校の規則を守っていますかという設問、また、人が困っているとき進んで助けていますかという質問、また、いじめについてはどんな理由があってもいけないという認識を持っているかどうかの3問の設問で把握したいと考えております。</p>
金子会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>あと、青少年育成市民会議会長でいらっしゃる戸村委員から何かございましたらお願いいたします。</p>
戸村委員	<p>特にありません。</p>
金子会長	<p>ありがとうございます。それでは、政策5につきましては、以上をもちまして終了して、議事を先に進めさせていただきたいと思います。</p> <p>続きまして、政策6の説明を、事務局、お願いいたします。</p>
事務局	<p>政策6になります。資料2-2、下段、政策6をご覧ください。政策6は、4つの施策で構成しております。まちづくりの分野としましては、地域コミュニティの推進と行財政運営になります。自治会などの地域での活動を活性化するとともに、ボランティア、NPOなどの活動支援を行います。また、市民と行政が情報を共有することにより、市民ニーズや市の状況を的確に把握し、重点的に取り組む分野を選択するなど、計画的で効率的な行財政運営を推進していきます。</p> <p>本施策の変更点としましては、6-1「協働と交流によるまちづくり」で、基本事業④に「多文化共生社会の推進」を新規設定しました。現計画では、「異文化交流の推進」としておりましたが、在住外国人の増加に伴い、言語や生活様式、ごみの出し方など、全庁的な問題も発生してきていることから、交流から共生へといたしました。また、基本事業⑤に、「東京オリンピック・パラリンピック関連事業の推進」を新規設定し、取組について明確化をしております。</p> <p>政策6の成果指標について、資料2-3、10ページをご覧ください。上段の「協働と交流によるまちづくり」の基本事業4「多文化共生社会の推進」では、(1)「多文化共生社会に向けた取組数」、基本事業5の「東京オリンピック・パラリンピック関連事業の推進」は、(1)「東京オリンピック・パラリンピック関連の事業実施数」、これらによって、それぞれ市の実施した取組数や事業数</p>

	<p>によって成果を測ることとしております。</p> <p>雑駁ではございますが、説明については以上となります。</p>
金子会長	<p>ありがとうございます。それでは、政策6について今、説明をいただきました。何か質問、ご意見などございましたら、挙手の上ご発言をお願いいたします。</p> <p>小川委員、お願いします。</p>
小川委員	<p>3の「計画的・効率的な行財政運営」のところ、基本事業に「PDC Aサイクルの推進」とあるんですが、これは最近苦い経験がございまして、学生と社会人を交えたビジネスディベートという事業をやったときに、とある学生が、その中でPDC Aサイクルをやることが重要だと提案した瞬間に、他の学生から「PDC Aサイクルはマストだよ、当たり前だよ」とあっさり蹴られちゃったんですよ。だから、当たり前のことを書いてもしようがないなと思うんですが、これは要らない、書かない方が僕は良いと思うんですけども、ちょっと基本事業名を変えて、基本事業の目標達成率だけでいいかなと思うんですけども、いかがでしょうか。</p>
金子会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、事務局からお願いしたいと思います。</p>
越川企画政策課長	<p>小川委員、たびたびご質問ありがとうございます。そうですね、PDC Aサイクル、もう何年も言い続けています。そういった形の中でやっている、当然といえば当然ということなので、貴重なご意見という形の中で検討させていただきます。</p>
金子会長	<p>それでは、相原委員、お願いします。</p>
相原委員	<p>これもネーミングなんですけれども、6-2が「開かれた市政」から、「まちの魅力発信の推進」に変わったんですけれども、議会情報の公開の推進とか公聴という内容と、ここのネーミングは合うんですか。それなら、前の開かれた市政の方がずっと分かりやすそうな気がするんですけど。</p>
金子会長	<p>それでは、事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>こちらにつきましては、今までシティセールスの充実ということで施策組みを行っておりましたので、市政情報を伝える施策というところで検討させていただきまして、今回、開かれた市政から、まちの魅力発信の推進ということで一歩先に進めたネーミングにさせていただいているんですけども、今、委員</p>

	<p>がおっしゃいましたとおりに、ちょっと性質の異なるものが混ざっているという事は確かにご意見としてあると思いますので、引き続き検討を行わせていただきたいと考えてございます。回答はまた保留になりますけれども、よろしくお願ひいたします。</p>
金子会長	<p>ありがとうございます。他にございますか。 それでは、小川委員、お願ひします。</p>
小川委員	<p>確認がてらなんです、同じところの4番目、「公正確実な事務の執行」のところ、「公平・公正な課税」とあるんですけども、そこは件数だけなんですか。金額は入れなくていいんですか。一応、そこに含まれるという理解でよろしいんでしょうか。一応、金額が減る方も大事だと思うんですよね。少ない方がいいにこしたことはないのです。</p>
金子会長	<p>それでは、事務局からお願ひします。</p>
小川市民部長	<p>ありがとうございます。今回、指標で取っているのは件数だけを取っております。間違い、不服申し立て等により課税誤りになった件数というものを指標に取ってみたというところになっています。金額ベースではありません。</p>
小川委員	<p>入れないんですか。</p>
金子会長	<p>金額をいれない理由をお知りになりたいということですね。</p>
小川委員	<p>市民として、件数もさることながら、金額の方に関心を持つんじゃないかなと思うんですけども、そこは良いんですか。</p>
金子会長	<p>それでは、市民部長、お願ひします。</p>
小川市民部長	<p>ありがとうございます。確かに金額ベースの方が興味はあるかと思ひますけれども、1件の誤り、2件あっても、金額はそのときの誤りの内容によって変わりますので、結局、上がったたり下がったりという、何を間違えたのかによって金額が大きく動いちゃうということになるろうかと。そういうことを想定しまして、私どもで、今回これを設定したときには、まずは件数ということで、件数分の指標にしたということでございます。気持ちは金額ベースで、分からないわけではないんですけども、実際のこの指標は件数でやらせてもらえればというところでの設定ということになっています。</p>
金子会長	<p>よろしいでしょうか。他にありますでしょうか。</p>

<p>小林委員</p>	<p>それでは、小林委員、お願いします。</p> <p>何度も済みません。ちょっとピンポイントではないんですが、市民活動は小さいものから大きいものまであるかと思うんですが、これに参加している市民の割合、市民がどのぐらいやっているかというのが指標にあるんですが、どのぐらいこの活動を行政が知っているかというのも、市民活動をしている側としては気になるのかなと思っていて、例えば、先ほど、小川委員がおっしゃっていた防災などをSNSで拡散しているというのは、今、市民SNSでやっていることなんですが、これは完全に市民ベースでやっていて小さく、でも、これはとっている方にはすごく反響があることだったりするんですが、なかなか行政とは連携ができていないのかなというところが正直あるので、もう少し一緒にやれたらいいなと思っています。質問じゃないんですが、済みません。</p>
<p>金子会長</p>	<p>ありがとうございます。これについて何かコメントがございましたら、では、総務部長、お願いします。</p>
<p>石橋総務部長</p>	<p>ありがとうございます。私どもの方で知り得ていないところで動いている、特にSNS関係は非常に多くあることも認識をしております。そちらもできるだけ、正しい情報というのはどうしても必要だと思いますので、それも含めて一緒にできればなという考えを持っております。</p>
<p>金子会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、小川委員、お願いします。</p>
<p>小川委員</p>	<p>ちょっとした誤びゅうを見つけたんですけれども、2「まちの魅力発信の推進」、基本事業名1「情報発信力の充実」の成果指標名ですが、そこから4項目あるんですけれども、(1)、(1)と出てくるのが幾つかあって、これを作るときにちょっとお疲れだったのかなと思うので、ここで誤びゅうがあることを指摘しておきます。</p>
<p>越川企画政策課長</p>	<p>ありがとうございます。大変失礼しました。</p>
<p>金子会長</p>	<p>ありがとうございます。それでは、政策6につきましては、以上の質疑をもちまして終了にしたいと思います。</p> <p>政策1から政策6まで全体を通じまして、ご意見、ご質問などありましたら、挙手の上ご発言いただければと思います。まだ発言されていない委員の方で、何か質問ありましたらお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、相原委員、お願いします。</p>

相原委員	<p>これは計画づくりがどんな格好かというのにも関係するんですけれども、市をゾーニングして4つですから、4のゾーニングで地域ごと、生活ごとで分けているんですけれども、こういうことをやると地域ごとに書いてあるんですが、その目玉というか、その地域で特に特化するようなものを特出するとか、そんな方法もあると。イメージしているのは、先ほど来、成田空港を考えれば、どちらかという、山武市について、成田空港を活用した何かをするという、リゾートとかレクリエーションとか、蓮沼海浜公園等を利用したものを重点事業として実施していくという、そんなイメージですけれども、それで各ゾーンごとに、こんなことをやっていくという目玉事業みたいなものを特出するような方策というのはないものだろうか。これは多分、計画づくりがそんな格好にはなっていないのかなと思うので、ちょっと分からないんですけれども、そんなことがあったらいいなという。</p> <p>以上です。</p>
金子会長	<p>ありがとうございます。これについては、コメントはいいですか。では、越川課長、お願いします。</p>
越川企画政策課長	<p>全体を通した中での意見ということでありがとうございます。この土地利用構想については、4つのゾーン分けを一応しています。今、委員からあったように、これから、そのゾーンごとに、本当にそこで一番特色あるというか、何を目指してそのゾーンを活性化していくかということなので、この辺も含めて、今現在、この土地利用構想については、合併当初の案の形で進んでいるという中で、今いただいた意見をもとに、その辺も改めて再度検討させていただきたいと思います。</p>
金子会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、今回は基本計画（骨子案）として、これから計画書をつくり上げていくに当たっての骨組みの検討でございましたが、先ほど、委員の皆様方からいただきました意見を踏まえながら、今後、計画書の作成を進めさせていただきたいと思います。</p> <p>そのように進めさせていただくということで、当審議会として問題ない旨を確認したいと思います。こういうことで問題ないということよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>(委員から異議なし)</p>
金子会長	<p>ありがとうございます。では、本件につきましては、異議なしとしたいと思います。</p> <p>では、(3)のその他となりますが、委員の皆様方から、最後に何かご意見ご</p>

	<p>ございますでしょうか。ないようですので、それでは、一切の議事を終了いたしたいと思えます。</p> <p>最後に、私から議論を伺っていて感じましたことを3点ほど申し上げたいと思えます。第1に、今まさに「新しい時代」が始まろうとしています。その中で今までなかったような課題に直面し、新しいタイプの行政が求められているということでありませ。</p> <p>第2に、現在の政策の名称について質問がありましたが、今後、具体的な政策を議論する中で実態に合った名称に変更することもありうると思えました。</p> <p>第3に、観光や防災などの話がありましたが、それぞれ単独で議論するのではなく、いろいろな業界の方々が集まるこの審議会で分野横断的に議論することの大切さを痛感致しました。</p> <p>本日はこれで一応、議長としての任を終わらせて頂きます。長時間にわたりまして、活発なご議論をありがとうございました。</p> <p>【6. その他】</p>
越川企画政策課長	<p>金子会長、どうもありがとうございました。皆さんにおかれましては、長時間にわたるご審議をいただきましてありがとうございます。</p> <p>皆様からいただいた貴重なご意見を参考にしながら、所管課等々と意見についての調整等、今後図っていきたくと思えますので、よろしくお願ひしたいと思えます。</p> <p>最後に、次第の6になりますが、その他の中で、本日の審議を踏まえまして、椎名市長よりお礼のご挨拶をさせていただきたいと思えます。</p>
椎名市長	<p>長時間にわたりまして大変貴重なご意見をいただきありがとうございます。最初にご挨拶で申し上げましたように、市にとりまして大変重要な計画でございますので、いただきましたご意見は、またしっかりと事務局の方で精査をして、次回には、新たな提案も含めてより良いものに仕上げているようにお願ひ申し上げてご挨拶といたします。本当にどうもありがとうございました。</p>
越川企画政策課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、事務局の方から今後の会議等の予定を報告させていただきたいと思えます。</p>
事務局	<p>それでは、最後に事務局から来年度のスケジュールについてご連絡いたします。お配りしてありますA4横判の(参考)第2次山武市総合計画策定に係る進捗状況、こちらをご覧ください。</p> <p>表の左側、下から2段目に総合計画審議会という欄があります。来年度は8月、11月、2月ごろを予定しております。表では3回をお示ししておりますが、</p>

越川企画政策課長	<p>進捗状況に応じて、3回から4回の開催を予定しております。</p> <p>次回の審議会では、重点施策の案と、本日審議をいただいた成果指標の現状値と目標値を審議していただきたいと考えております。後日、日程等については調整をさせていただく予定ですので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>事務局からは以上となります。</p> <p>【7. 閉会】</p> <p>それでは、次回開催予定の8月、そのときには、今日いただいた貴重なご意見をしっかりもんだ上でご報告させていただければと感じます。</p> <p>それでは、その他、委員さんから何かございますか。よろしいでしょうか。では、ないようですので、本日の議事は全て終了いたしました。</p> <p>それでは、以上をもちまして第2回山武市総合計画審議会を閉会させていただきました。長時間にわたりましてご協力ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">【4時00分】</p>
----------	---